

中村やすひろ通信



皆さまには、日頃より大変にお世話になり、心より感謝申し上げます。東日本大震災から1年が経ちました。改めて、震災でお亡くなりになった方々のご冥福と、一日も早い復興を心よりお祈り申し上げます。復興元年の本年、杉並区でも、新しい基本構想（10年ビジョン）・総合計画・実行計画を策定し、新しいスタートを切りました。首都直下地震への防災対策をはじめ、がん対策、長寿社会への対応など、区民の安心・安全の確保のため、全力で働いてまいります。

2012年4月 中村 康弘

災害に強いまちを目指して

杉並区は災害に強いまちづくりの取り組みを強化しています。「杉並区実行計画～3年プログラム～」から、区の災害対策の主な事業をご紹介します。

●耐震改修の促進

耐震診断の支援と、耐震性が不足している建物の耐震改修工事費の一部を助成します。災害時の避難路と輸送路の確保のため特定緊急輸送道路沿道建物の耐震化を進めます。

【3か年の目標】耐震診断支援 2300件、耐震改修助成 500件

●震災救援所周辺等の不燃化促進

震災救援所（区立の小中学校等）の周辺及び緊急道路障害物除去路線の建築物の不燃化建替え費用の一部を助成します。

【3か年の目標】不燃化建替え助成 300件

●木造密集地域の解消対策の推進

高円寺南や阿佐谷南等の木造密集地域の建物の不燃化等に向けた支援・誘導と、道路・公園等の整備を進めます。

【3か年の目標】共同建替助成 5件、個別建替助成 25件

●災害時要援護者支援対策・福祉救援所の整備

災害時に援護を必要とする要介護高齢者や障害のある方などの「地域のたすけあいネットワーク（地域の手）」への登録を促進し、災害時の受入施設となる福祉救援所を拡充します。

【3か年の目標】

「地域のたすけあいネットワーク」登録者数 8,500人→11,000人、福祉救援所の協定施設数 10所→27所



●災害時子ども安全連絡網の整備

区立の学校、保育園等の事前に登録された保護者等に、災害・危機管理情報をメールで一斉送信します。

がん対策が大きく前進！

杉並区は、この度初めて「（仮称）がん対策推進計画」を策定し、本格的な「がん対策」に取り組みます。がんは国民の死亡要因の第1位です。予防をはじめ、子宮頸がん予防ワクチン接種、がん検診の推進、患者・家族の支援、在宅医療等、総合的ながん対策で命と健康を守ります。

2月17日、一昨年に引き続き2回目のがん対策についての一般質問を行いました。



次の10年へ～新しい基本構想、総合計画、実行計画、24年度予算の概要～



本年第一回区議会定例会において、10年後の杉並区の将来像である「基本構想」(10年ビジョン)、「総合計画」(10年プラン)、「実行計画」(3年プログラム)の策定に伴い、平成24年度当初予算が審議を経て可決され、4月から執行されています。

24年度予算は「10年ビジョン元年予算」と位置付けられ、新しい計画の初年度として「安全・安心」「少子高齢化」「まちづくり」に重点配分されています。

区議会公明党は、昨年10月に214項目にわたる予算要望書を提出し、その内170項目が(一部を含め)実現しています。

【要望が実現した主な事業】**防災** 耐震改修の促進(6億6083万円)、木造密集地域の解消対策の推進(1億4400万円)、震災救援所周辺等の不燃化促進事業(1億3030万円)。**健康** がん対策の推進(5億4093万円)。**子育て・教育** (仮称)次世代育成基金の運営(6036万円)、児童虐待対策強化(2619万円)、全ての小中学校に学校司書を配置(9608万円)。**高齢社会** 介護サービス付き住宅や介護施設の整備(5億1172万円)など。



持続可能な財政運営を!



今議会では、一昨年に制定された「杉並区減税基金」廃止の提案が区側よりありました。

廃止の理由として、「区政を取り巻く社会経済環境の大きな変化」——3・11を受けて区民の生命・財産を守るための喫緊の防災対策に重きを置くこと、リーマンショック以降の景気の低迷と財政状況が予想以上に厳しいこと等についての説明がありました。

私たち区議会公明党は減税基金の設置には、減税自治体構想という長期的な視点に立つことで「単年度収支の使い切り予算からの脱却」、「財政のダムを構築し災害などに備える」、「将来に正の遺産

を継承する」との3つの理由から賛成しました。今回、区は、減税基金は廃止しても、これら公明党の主張については、①使い切りではなく**中長期に持続可能な財政運営**を行う、②**財政調整基金を活用した「新型ダム」**を構築する、③次代を担う子ども・青少年の育成を目的とした「(仮称)次世代育成基金」を創設・拡充する、等の考えを明示しました。

また3月21日には、これらの課題をまとめ、田中区長に対し「持続可能な財政運営のための要望」を行いました。一連の経緯を通して、区の財政に対する堅実な姿勢が確認できたので、私たちは廃止を了としました。



PROFILE

《プロフィール》

中村 康弘 (なかむら やすひろ) 昭和41年12月14日生まれ 45歳

【経歴】

和歌山市出身。創価大学法学部卒・米サンダーバード国際経営大学院国際経営学修士(MBA)

専門商社海外営業(シンガポール駐在含む)、外資系電子部品メーカー製造部長を経て、平成19年4月より杉並区議会議員(現在2期目)。

【主な役職】

公明党杉並総支部・庶務部長、杉並区議会公明党・政務調査会副会長

【委員会所属】

区民生活委員会、医療問題調査特別委員会委員長(平成24年4月現在)



中村 やすひろ

検索

http://www.komei.or.jp/km/y_nakamura



TEL: (03)3312-2831(区議会控室)

発行: 杉並区議会議員 中村康弘

携帯電話からもアクセスできます